

「選択する未来」シンポジウム

日本の未来像

— 人口急減・超高齢社会を乗り越える —

挨拶

13:00

溝口 善兵衛 島根県知事



第1部 基調講演・報告

13:05

基調講演

増田 寛也

「選択する未来」委員会委員
(東京大学公共政策大学院客員教授、
前岩手県知事)



「人口減少社会を考える」

報告

藤山 浩

島根県中山間地域研究センター研究統括監

「田園回帰の現状と戦略
～人口と所得の1%を取り戻す」

地域の未来像

- ◆ 地方の人口減少にどのように歯止めをかけるか
- ◆ 地方の活力、地方の若者の元気をどのように取り戻すか

人口流出抑制

東京一極集中

日本の人口は急速に減り続けています。このままでは、2060年には現在の3分の2程度まで減少し、特に子どもの数が少なくなり、日本の明るい未来を展望しにくくなってしまいます。

しかし、人々の意識が変われば、未来は変えることができます。

日本の未来について、いま一緒に考えてみませんか？

第2部 パネルディスカッション 13:55～16:00

パネリスト

石橋 良治

島根県邑南町長

内田 由紀子

京都大学こころの未来研究センター准教授

奥田 麻依子

隠岐島前高校魅力化コーディネーター

クリス・グレン

ラジオDJ/パスト・イベント・フューチャー代表取締役

樋口 美雄

慶應義塾大学商学部教授

深尾 昌峰

「選択する未来」委員会委員
(龍谷大学政策学部准教授)

コーディネータ

伊奈 正高

NHK松江放送局アナウンス副部長

※ パネリストによる討論後、参加者との質疑応答を行います。

日時・場所

日時

平成26年 10月14日 (火)

13:00～16:00 (開場12:30)

託児サービス

事前申込必要
(未就学児対象)

事前申込

入場無料

定員300名

会場

くにびきメッセ 国際会議場 島根県松江市学園南1-2-1

(主催) 内閣府

(後援)

島根県、NHK松江放送局、山陰中央新報社、島根日日新聞社、中国新聞社、
日本商工会議所、全国商工会連合会、島根県商工会議所連合会、島根県商工会連合会

選択する未来

検索

東京都でも開催!

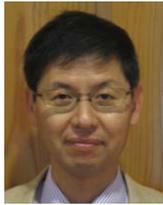
日時: 10月8日(水) 14～17時

場所: 国連大学

詳しくは内閣府ホームページまで

報告者・パネリスト 紹介

藤山 浩 島根県中山間地域研究センター研究統括監



一橋大学経済学部卒業後、中国・地域づくりセンター主任研究員などを経て、1998年より島根県中山間地域研究センター。地元で根ざした多様な暮らしを取り戻す「田園回帰」を提唱している。

クリス・グレン ラジオDJ/パスト・プレゼント・フューチャー代表取締役



オーストラリア出身。名古屋在住。日本の歴史・文化に造詣が深く、外国人視点で「日本の魅力」を語る講演を行うほか、歴史観光ツアー、外国人向けインバウンド観光支援アドバイザー等を行う。趣味は、戦国の歴史研究、城めぐり、甲冑武具の収集など。NPO名古屋国際観光推進協議会・副理事。

石橋 良治 島根県邑南町長



石見町議会議員、島根県議会議員を経て、2004年より現職。3期目。食と農を生かした「A級グルメ」事業と、定住促進を目指す「日本一の子育て村」構想により、「A級の町」を目指している。島根県町村会長。

樋口 美雄 慶應義塾大学商学部教授



慶應義塾大学卒業後、コロンビア大学、スタンフォード大学客員研究員を経て、現職。専門は、労働経済学・計量経済学。「まち・ひと・しごと創生会議」メンバー。

内田 由紀子 京都大学こころの未来研究センター准教授



京都大学大学院博士課程修了後、ミシガン大学、スタンフォード大学客員研究員を経て、現職。価値観や思考様式などの「文化」とこころの関係を研究対象とし、幸福感・他者理解・対人関係についての文化心理学研究に取り組む。

深尾 昌峰 「選択する未来」委員会委員（龍谷大学政策学部准教授）



京都を中心とする市民活動基盤整備に奔走。2001年、日本で初めてのNPO法人放送局「京都コミュニティ放送」を立ち上げ。2009年、公益財団法人京都地域創造基金の理事長に就任し、市民性を引き出す仕組み作りに興味。2010年より現職。

奥田 麻依子 隠岐島前高校魅力化コーディネーター



岡山県出身。京都大学卒業後、DeNA勤務を経て、2012年4月から地域おこし協力隊として海士町在住。教育の魅力化により、地域を活性化するモデルを作るべく島前高校魅力化プロジェクトに携わる。隠岐島前高校を核として地域の未来をつくる人づくりを推進している。「まち・ひと・しごと創生会議」メンバー。

伊奈 正高 NHK松江放送局アナウンス副部長



1993年NHK入局。松山放送局、アナウンス室勤務等を経て、現職。これまで「おはよう日本」のリポーターや「100年インタビュー」「B S特集」などの番組制作を担当。

申込方法



下記アドレスからお申込みください。

<http://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/future/symposium/141014shimane.html>



FAX 03-3581-0953 下記申込書にご記入の上、送信してください。

10月6日(月)
締切

ふりがな			年齢	<input type="checkbox"/> 10代	<input type="checkbox"/> 50代
氏名 ※必須			※必須	<input type="checkbox"/> 20代	<input type="checkbox"/> 60代
電話番号 ※必須	FAX番号 ※必須			<input type="checkbox"/> 30代	<input type="checkbox"/> 70歳以上
住所				<input type="checkbox"/> 40代	
電子メールアドレス			性別	男・女	
職業	<input type="checkbox"/> 会社員 <input type="checkbox"/> 会社経営 <input type="checkbox"/> 公務員(国) <input type="checkbox"/> 公務員(地方) <input type="checkbox"/> 研究者 <input type="checkbox"/> 教師 <input type="checkbox"/> 自営業主 <input type="checkbox"/> 福祉・医療関係 <input type="checkbox"/> パート <input type="checkbox"/> 学生 <input type="checkbox"/> 主婦 <input type="checkbox"/> その他				
本シンポジウムはどのようにお知りになりましたか(複数回答可)			託児希望の場合 お子さんのお名前		
<input type="checkbox"/> 内閣府ホームページ <input type="checkbox"/> 案内チラシ(場所:)					
<input type="checkbox"/> 登壇者・主催者からの紹介 <input type="checkbox"/> その他()			(歳)		

※ ご記入いただいた個人情報、本シンポジウムの参加者管理にのみ使用し、その他の目的には一切使用いたしません。